

都 退 教 協 だ よ り

No.313号

2023年6月21日発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

都退教協総会を開催いたします 7月5日(水)14:00 東京教組会議室

第49回都退教協定期総会を下記の通り開催いたします。多くの会員の皆様が参加されるようお願い申し上げます。

お祭り騒ぎのヒロシマサミットが終了しましたが、NATO 同盟国の結束と核抑止力誇示により核廃絶を求める被爆者を落胆させ、戦争の危機を深める結果になりました。

岸田自公政権は、大軍拡を進める一方で、入管難民法の改悪、さらに骨抜きにしたLGBT理解増進法、原発推進東ね法案などを6月21日に会期末を迎える通常国会で強行しました。安保三文書で敵基地攻撃能力、大軍拡を

打ち出した岸田政権は、物価高騰による賃金・年金の実質引き下げに何ら有効な政策を打てないまま、緊急事態条項などの憲法改悪にも意欲を見せています。

教え子を再び戦場に送らない決意をこめて、都退教協総会を成功させましょう。議案書をお読みいただき、ファックスまたはメールで、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

ファックス 03-5276-1312

メール extani@gmail.com

記

日時：7月5日(水)午後2時開会～4時閉会予定

会場：東京教組会議室(日本教育会館2階)

議事：①2022年度 経過報告・決算報告

②2023年度 活動方針・予算案

③2023年度 役員人事

④総会宣言

※総会終了後、ささやかな懇親会も行います。



※議案書は、P2～P7に掲載しています。

2023年度 第49回 都退教協定期総会 議案書

2022年度 経過報告

ロシアのウクライナ軍事侵略(22/2/24)は長期化し戦争犠牲者は増え続け、ベラルーシへの核配備などと核戦争の危機にも直面しています。日本は、国連、国際社会の一員として一刻も早い停戦に向け、NATOに同調した経済制裁、軍事援助でなくロシアの隣国として平和外交を開始すべきです。

しかし、日本政府は、この機に乗じて「台湾有事」を煽り、安全保障三文書を閣議決定、敵基地攻撃能力を保有する軍備倍増、南西諸島の軍事要塞化を予算化し、さらに9条改憲を目論んでいます。都退教協は声明「敵基地攻撃、軍備拡大、戦費増税を断固阻止します」(23/1/18)を発し、政府を厳しく糾弾しました。

昨年来、衆議院憲法審査会は慣例を無視して定例開催され、改憲項目についての議論を急ピッチで進めています。しかし、世論調査(共同通信社 23/5/1)では、改憲の「気運が高まっていない」が70%、「高まっている」は28%で昨年とほぼ同様でした。憲法大集会(23/5/3 有明防災公園)には2万5千人が集まり、改憲・大軍拡反対の声をあげました。

岸田政権は、森友・加計・桜を見る会、日本学術会議の任命拒否などの問題解決に蓋をしたまま、安倍首相の国葬強行(22/9/27)、旧統一教会との政治癒着と人権侵害問題の先延ばし、国会をないがしろにした安保三文書閣議決定、原発回帰法案、入管難民法案を強行しました。

G7 ヒロシマサミットはNATO 同盟国の結束と核抑止力誇示に終わり、核廃絶を求める被爆者を落胆させ、戦争の危機を深める結果になりました。

今年度の年金額は1.9%引き上げにとどまり、異常な物価高騰に年金は実質目減りしました。厚労省の毎月勤労統計によると実質賃

金は前年比2.6%低下で11カ月連続の減少(23/4/7 公表)、3月の消費者物価指数は前年比3%上昇しました。生活必需品、光熱費の高騰は私たち高齢者、非正規労働者、シングルマザーなど弱者の生活を直撃しています。

後期高齢者医療制度に窓口自己負担2割が導入されました(22/10~)。高齢者の受診抑制による重症化が懸念されます。また、後期高齢者の医療保険が引き上げられ、出産一時金の財源として7%相当分を負担することになりました。軍事費に税金をつぎ込む一方で医療保険を財源にすることに疑問を禁じえません。

4月の統一地方選挙では女性議員を増やすべきだとする世論の高まりの中、区議選挙では女性議員が36.4%(全国の市議選は22%)になり、杉並・武蔵野では男女同数以上になりました。江東、豊島、北、東村山の首長も女性が当選し、女性首長は6名になりました。

東京教組組織内候補(都退教協推薦)は、原ゆきさん(立川市)、おぐら修平さん(足立区)の当選を果たしました。

政府は原発回帰を進める法案を束ねて(GX法)国会成立を強行しました。世論調査では約6割が将来的な脱原発を支持しているにもかかわらず、60年を超える原発を稼働させ、原発の新規建設を可能にすることは、福島原発事故の教訓を顧みない暴挙に他なりません。また、福島第一原発事故の汚染水の海洋投棄も地元漁連との合意もないまま強行されようとしています。

教員の勤務実態調査で小学校教諭の64.5%、中学校教諭の77.1%が国指針の「上限45時間/月」を超える時間外勤務をしていました(4/28 文科省)。深刻な教員の長時間勤務など労働環境の悪化により教員不足も深刻です。小・中学校の「教師不足」は

2,086人(22/1文科省調査)で、管理職が産育休、休職などの代替教員を務めるケースもあります。

「子どもの貧困率」は7人に1人という高い割合になっています(貧困率13.5%OECD加盟国最悪、2018年)。子どもの貧困は、貧困の連鎖にもつながります。

多くの区で給食費の無償化などが進められています。自治体による格差をなくすためにも、政府レベルで教育費・給食費の無償化を進めることが喫緊の課題です

高等教育無償化(2019)になっても教育費の負担は大きく、少子化の大きな要因の一つになっています。また、高等教育、幼児教育・保育の無償化から朝鮮学校が排除されていることも憲法および国連人権規約に違反しています。

昨年8月に障害者権利条約の日本審査が行われ9月には総括所見が出されました。その内容は日本の分離教育の実情を厳しく問うものでしたが、文科省は無視するような対応をしています。

都がベネッセに丸投げし5億円の税金を投入したスピーキングテストは、多くの反対にもかかわらず実施されました(22/11/27)。強行された結果、隣の回答者の声が聞こえてしまう、採点修正が行われるなどの問題が生じました。都教委は今年度35億円の予算をかけ、中学校全学年に拡大して実施することを公表(23/4/27)しました。直ちに見直すべきです。

1. 組織強化のとりくみ

退職する東京教組組合員全員に加入を呼びかけました。会費も8割近くの会員が納入してください、多くの会員からカンパをいただき財政を確立することができました。一方、組織拡大は、加入される方が2名にとどまり、亡くなられた会員3名の他、高齢による退会もあり会員は減少傾向にあります。

2. 憲法改悪阻止・平和を守るとりくみ

改憲・大軍拡に反対する多くの集会が開催されるようになり「戦争をさせない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会」や「平和憲法を守る東京ネット」などの集会に参加し、5月3日の憲法大集会に多くの会員が参加しました。

3. 脱原発社会実現・東日本大震災からの復興・辺野古新基地建設反対のとりくみ

福島第一原発事故から12年、「原子力緊急事態宣言」はいまだ解除できない状況です。廃炉の見通しもたたないまま、岸田首相は原発回帰(GX法)に踏み込みました。原発事故の責任究明と、汚染水海洋放出、再稼働や核燃料サイクル推進など命より経済の優先する政策を是正させるため、集会、署名活動にとりくみました。

「台湾有事」を想定した南西諸島の基地強化、合同訓練が進んでいます。辺野古新基地建設反対、沖縄戦の遺骨が眠る南部の土砂を埋め立てに使わせない運動を支援する署名、集会にとりくみました。

4. 後期高齢者医療制度廃止・社会保障充実のとりくみ

「都退教協だより」に高齢者社会保障について掲載するとともに、医療・福祉制度の充実を求め日退教、東京高退連、都退協の学習会、集会に参加しました。

5. 年金制度に対するとりくみ

3年ぶりに年金引き上げになりましたが、物価高騰により実質収入減になっています。くらしを保障し、将来世代にも安定した年金制度の確立を目指して高退連、地公退、日退教と連帯してとりくみました。

6. 税制に対するとりくみ

大軍拡増税が企てられる中、不公平税制を是正し消費税減税、累進課税強化、法人税増税の声も高まっています。

7. 公務員制度改革に対すとりくみ

教職員の過重労働が社会問題になる中、教員不足が深刻です。学校の労働環境改善、定数増、教職調整手当を廃止して残業手当を払えの声も高まっています。都退教・日退教とともに、現職の労働時間短縮、定員増と公共サービスの確立を求め現退一致でとりくみましました。

8. 岸田政権、小池都政の教育介入を許さず、民主教育を守るとりくみ

歴史をゆがめる教科書を子どもたちに手渡さない運動を継続して進めてきました。日の丸・君が代の強制など、教育に介入する岸田政権・小池都政の教職員を分断し競わせる人

事制度と「日の丸。君が代」処分など不当な弾圧を続けています。

9. 「朝鮮高級学校授業料無償化」に対すとりくみ

高校生を原告とする無償化裁判は、相次いで不当判決が出されました。幼保無償化からも朝鮮学校を排除、学生支援緊急給付金における朝鮮大学の除外などの差別が続いています。外国人学校幼稚園支援を求める署名、東京の朝鮮学校を支える会や朝鮮学校の学生、卒業生と連帯するとりくみを進めました。

2022年度 業務日誌

2022年6月～2023年5月

6月9日(木)11:00 日退教組織代表者会議
6月15日(水)13:00 都退教協役員会
(会報307号・議案発送)
6月27日(月)13:00 都退協代表者会議
7月6日(水)13:00 都退教協役員会 14:00 総会
7月27日(水)13:00 地公退定期総会
8月17日(水)13:00 都退教協役員会
(会報308号発送)
9月5日(水)13:00 都退協代表者会
9月14日(水)13:00 退職者連合
全国高齢者集会(新宿文化センター)
9月15日(木)13:00 地公三単産高齢者集会
9月21日(水)13:00 都退教協三役会
9月22日(木)10:00 都退教協・都高退
囲碁大会(ナーベルお茶の水)
10月5日(水)13:00 都退協代表者会
10月13日(木)11:00 五者合同学習会
10月13日(木)13:00 東京高退連総会
10月14日(金)10:00 日退教組織活動交流集会
(ラポール日教済)

10月17日(月)13:00 都退協総会
10月19日(水)13:00 都退教協役員会
(会報309号発送)
10月21日(金)18:30 人権の21世紀をつくる
文化の集い(田中優子さん講演)
11月2日(水)11:00 秋の交流会
(旧東海道品川宿)
11月16日(水)13:00 都退教協三役会
12月8日(木)16:00 国連人権勧告実現集会
12月21日(水)13:00 都退教協役員会
(会報310号発送)

2023年

1月19日(木)18:30 安保三文書反対
国会前集会(衆議院議員会館)
1月20日(金)13:00 日退教福祉部会
1月24日(火)14:00 都退協幹事会・学習会
1月27日(金)18:30 沖縄建白書集会
(日比谷野外音楽堂)
1月30日(月)13:30 地公退・自治退合同幹
部学習会(東京グリーンパレスホテル)
2月2日(木)14:00 東京高退連学習会

(田町交通ビル5階) 有田芳生さん

2月11日(土)10:00 日朝教育交流の集い

2月14日(火)13:30 都退協代表者会

2月15日(水)13:00 都退教協役員会
(会報311号発行)

2月18日(土)14:00 あべ裕美子春の集い

2月24日(金)13:30 東京退女教学習会

3月15日(水)13:00 都退教協三役会

3月19日(日)14:00 国会議員会館前行動

3月21日(火)13:30 さようなら原発全国集会
(代々木公園)

4月4日(火)14:00 東京高退連巣鴨街宣

4月12日(水)13:00 都退教協役員会
(312号発行)

4月19日(水)18:30 総がかり行動
(衆議院議員会館前)

4月27日(木)15:00 前川喜平講演会
(品川高退連・田町交通ビル3階)

4月29日(土)10:00 メーデー(代々木公園)

5月3日(水)13:00 憲法大集会

5月9日(火)13:30 日退教福祉部会

5月17日(水)13:00 拡大三役会

5月19日(金)18:30 辺野古新基地反対
国会前集会

5月22日(月)13:00 部落解放基本法中央集会
(星稷会館)

5月24日(水)13:30 都退協代表者会

5月26日(金)18:00 都政連事務局会議

6月9日(金)11:00 日退教定期総会

6月12日(月)14:00 都退協学習会「安保三
文書と大軍拡」杉原浩司さん

6月14日(水)14:00 東京高退連学習会

6月16日(金)18:00 ワタシタチハニンゲン
ダ上映会(田町交通ビル6階ホール)

6月21日(水)13:00 役員会
(313号議案書発送)

7月5日(水)13:00 都退教協役員会
14:00 都退教協総会

都退教協 2022 年度決算報告

収入の部 (単位 円)				
項目	予算額	決算額	増減	内容
年会費	250,000	260,000	△10,000	2,000×130名
雑収入	75,000	63,502	11,498	日退教、過年度会費、他
カンパ会計より戻入	19,525	19,525	0	
繰越金	155,475	155,475	0	
合計	500,000	498,502	1,498	

支出の部				
項目	予算額	決算額	増減	内容
会議費	10,000	0	10,000	定期総会、関ブロ総会
行動費	200,000	113,380	86,620	動員費補助・役員会
事業費	160,000	132,854	27,146	会報印刷発送・事務費
分担金	89,660	94,660	△5,000	日退教・都退協・関ブロ
雑費	40,340	26,951	13,389	慶弔・振替手数料
合計	500,000	367,845	132,155	
差引残高		130,657		次年度繰越金

2022年度 特別会計(カンパ会計)決算				
項目	収入	支出	残額	内容
繰越金	390,047			
カンパ金	99,500			2022年度
利息	3			
一般会計戻入		19,525		2022年度予算へ
合計	489,550	19,525	470,025	

都退教協・2023度 活動方針(案)

物価高が続々と押し寄せ、年金が目減りする私たちの暮らしをしり目に、岸田政権は敵基地攻撃能力(反撃能力)と大軍拡でささやかな平和すら奪おうとしています。

憲法9条は、戦争法で集団的自衛権を容認した安倍政権、安保三文書で専守防衛すらかなぐり捨てた岸田政権によって捻じ曲げられ、衆参両院で改憲勢力が2/3以上の議席を持ち危機を迎えています。あたらしい戦前にさせないため、私たちのくらしと平和・人権・環境を守るとりくみを進めます。

一方、コロナ禍で加速した格差社会はより深刻さを増しています。私たちは、社会的な弱者を救済する教育、福祉政策の実現にとりくみます。

岸田自公政権のアメリカ従属外交は、ウクライナ停戦を仲介する平和外交ではなく、NATOに追随する経済制裁と武器供与に踏み込んでいます。「台湾有事」を煽り、自衛隊が米軍の肩代わりすることで南西諸島を再び戦場にする危機が迫っています。沖縄県民の民意である辺野古新基地建設不承認を支持し、政府に基地建設断念と日米地位協定の抜本改定を求めます。

築60年以上の原発稼働、新炉建設、福島第一原発汚染水海洋投棄を許さず、脱原発・脱炭素社会をめざしてたたかいます。

以下、基調となる活動方針を記します。

1) 憲法改悪に反対し、特定秘密保護法・

戦争法・共謀罪法・入管難民法・GX法の廃止・改正を目指し、平和と人権・環境を守る取り組みを進めます。

- 2) 再任用、会計年度職員全員に加入を呼びかけ組織拡大を図ります。定年が今後10年で65歳に延長されるのに伴い、延長された定年を迎える東京教組組合員全員の加入を図ります。会員の交流を深めるため、都退教協だよりに会員の活動を紹介するとともに、交流の場、学びの場を企画します。各種活動・集会・役員への女性参画を高めるよう努めます。
- 3) 岸田内閣、自公政権退陣、改憲阻止に向け、関係諸団体と連携し、各種集会、行動に取り組みます。辺野古新基地建設に反対する諸行動に参加します。
- 4) 脱原発、脱炭素社会を実現するためのエネルギー政策転換を求めます。原発被災者をはじめ、被災者自身の意思に基づいた救済・復興を求めます。
- 5) 社会保障制度の確立をはかり、私たちがめざす政策の実現に向け、あらゆる運動にとりくみます。当事者である高齢者本位の介護・医療・年金・生活保障の充実を求めて日退教・都退協・高退連に結集し、一つ一つの行動にとりくみます。
- 6) 日退教、地公退、東京高退連、都退協などと連帯し、統一要求に基づき、社会保障の充実、公正な税制を求めます。法人税の引き上げ、累進課税強化、消費税

減税などの税制改正による所得再分配を求め、所得格差の是正、貧困化緩和などの実現にとりくみます。

- 7) 労働基本権剥奪、賃下げ、定数削減などの公務員攻撃に対し、現退一致でとりくみます。
- 8) 「日の丸・君が代」処分をはじめ、教育の統制、政治介入に反対し、教員免許更新制度の廃止に伴う新たな研修制度が教員に過重にならないよう求め現職

と連帯してとりくみます。

- 9) 能力主義の学校教育を変えていくためにインクルーシブ教育の必要性を訴えていきます。「朝鮮学校授業料無償化」「幼保無償化」を実現するため、他の諸団体と連帯してとりくみます。
- 10) 現退一致を基本に、日退教、地公退の一員として取り組みの前進をはかるとともに、構成単会と一致協力して都退協活動を前進させます。

都退教協 2023 年度予算(案)

収入の部		(単位 円)		
項目	23 年度予算	22 年度予算	増 減	内 容
年会費	250,000	250,000		2,000×125 名
雑収入	75,000	75,000		日退教、過年度会費、他
繰越金	130,657	155,475	△24,810	
カンパ会計より戻入	44,343	19,525	24,818	
合 計	500,000	500,000		

支出の部				
項目	23 年度予算	22 年度予算	増 減	内 容
会議費	10,000	10,000	0	定期総会、関プロ総会
行動費	200,000	200,000	0	動員費補助・役員会
事業費	160,000	160,000	0	会報印刷発送・事務費
分担金	89,660	89,660	0	日退教・都退協・関プロ
雑 費	40,340	40,340	0	慶弔・振替手数料
合 計	500,000	500,000	0	

2023 年度 特別会計(カンパ会計) 予算(案)				
項目	収入	支出	残額	内 容
繰越金	470,025			
カンパ金	50,000			
利息	3			
一般会計戻入		44,343		2023 年度予算へ
合計	520,028	44,343	475,685	

東京都退職教職員協議会 2022年度 役員案

会 長	谷口 滋	常任委員	繭山 紀子
副 会 長	安部 東明	〃	齋藤 典子
事務局長	川角 恒	〃	土井 彰
会 計	安藤 隆	〃	林 健
会 計	名谷 和子	顧 問	秋元 松彦
常任委員	城田 純生	〃	柴田 迪春
〃	藤崎 喜仁	会計監査	長谷川和男
〃	小倉 武	〃	木谷 恭子

会費・カンパを振り込んでいただき、ありがとうございます。

会費納入を納入してくださった方々（敬称略）

武田好永、望月美江、堀江昌枝、松下和男、平井みや子、菅沼京子、秋元松彦、植木しげる、繭山紀子、加藤和雄、吉尾定、深澤裕、深澤和子、鈴木満佐子、中村光夫、石橋厚彦、本田啓三、生井榮一、若山雅男、片山政志、竹山諭、村田明夫、島村誠、佐々木貴世子、武藤啓司、内藤貴子、堀井潔、田中文男、浅川謙司、満下嚙、武田武司、榊原実、山崎大輔、片桐健司、石岡佳子、河合新一、依田倫子、吉岡満佐江、兒玉喜代子、有賀由美、内田進、一ノ瀬渉子、鶴田芙沙子、堀越新、小山都、永塚正博、中村滋、鈴木達哉、平永由美子、横山愛子、山本勇治、植木正治、秋元清高、浅井哲哉、三宅芙美子、関嘉夫、藤井友子、牛丸教子、佐久間忠夫、大浦眞治、木下裕一、木下美佐子、川島みつよ、谷口滋、藤崎喜仁、藤崎みどり、川角恒、土井彰、城田純生、城田美穂子、安藤隆、小倉武、安部東明、林健、菊地純子、別所勝也、岸塚雅雄、小澤吉則、木谷恭子、長谷川和男、

カンパしてくださった方々（敬称略）

武田好永、望月美江、堀江昌枝、秋元松彦、植木しげる、繭山紀子、吉尾定、中村光夫、石橋厚彦、生井榮一、若山雅男、竹山諭、島村誠、佐々木貴世子、内藤貴子、堀井潔、浅川謙司、榊原実、山崎大輔、石岡佳子、有賀由美、一ノ瀬渉子、鶴田芙沙子、小山都、横山愛子、山本勇治、秋元清高、三宅芙美子、藤井友子、佐久間忠夫、川島みつよ、谷口滋、藤崎喜仁、藤崎みどり、別所勝也、

6月17日現在

ひとこと

振込用紙の「ひとこと」欄に書いて下さった会員の声をお届けします。

武田好永 歳をとり集会に出られず、又、収入もなくなり年金だけになってしまいました。

望月美江 「二度と戦争しない国」「戦争被爆国」を命をかけても語りつぎ、現憲法を守っていきたい！です。

秋元松彦 現在、体調よくなり、あまりお手伝いができず申し訳ない。

鈴木満佐子 日本には憲法9条があります。戦争はしません。

竹山 諭 教え子を再び戦場に送るな！

島村 誠 感謝しております。どうかお元気で、再見！

浅川謙司 情報ありがとうございます。

山崎大輔 若者の投票率3割。2年続いた選挙遊説中の事件。ともに民主主義の危機です。今こそ政治家は言葉を取り戻してほしい。閉塞した社会の人々に届くちゃんとした「言葉」を！

片桐健司 ごくろう様です

吉岡満佐江 新たな戦前にさせないためともにがんばりましょう。

一ノ瀬渉子 教育や福祉にお金を使ってほしいのに軍拡とは一。政治を変えたいと今、心から思っています。

鶴田芙沙子 お世話になります。

堀越 新 手と口がうまくうごかない。

植木正治 3月下旬にケガをしてしまって、コルセットをして出勤しています。

秋元清高 よわい90, さすがにくたびれ、よろよろのぼろぼろ。でももう少し頑張るって次の世代と社会の変化を

見たい。孫の一人が院を終了、それも楽しみです。

中村光夫 秋の交流会、「品川フィールド」楽しかったです。ぜひ鎌倉にもお出かけください。案内いたします。鎌倉で住民運動をやっています。

佐久間忠夫 お蔭様で、元気しております。

川島みつよ 遅れてすみません。マイナンバーカード、拒否しています！

吉尾 定 ご苦労さんです。頑張ってください。少ないですが、年金もだんだん減っているのかな？

小生、今年で96歳。思えば遠くに来たもんです。子どもに帰ったような気持ちで家の前を通る子どもと朝晩声を交わして挨拶しています。若返ります。幼児にちょっかい出すのもいいですね。高退連の通信も質量ともよみごたえを感じています。ますますの質量向上を期待します。小生、近頃体のあちこちの痛み、曲げ伸ばし不自由、目の悪さ、耳の悪さの悩み、頭の悪さ・・・百害です。唯一、食事の旨さ、酒の旨さ、碁の好きさに助かっています。

菊地純子 5月30日に福島の実家に引っ越します。4月から無職になり、のんびりしています。引越ししましたら、又、連絡します。

岸塚雅雄 大軍拡・大増税に抗う力をみんなで作りましょう！

当たり前前に生きられる社会をめざして ―ベーシックサービス―

ベーシックサービスをテーマに井出英策さん（慶応大教授）の講演がありました。（東京高退連学習会 6/14）

井出さんは、日本の自己責任社会は土台が崩れているのに続いていると批判し、尊厳ある社会保障と弱者を生まないライフセキュリティを確立するベーシックサービスこそ必要な政策であると力説しました。自己責任社会のコロナ禍で移動の自由、営業の自由などが公共の福祉の名のもとに公然と侵害されました。個人の価値よりも全体の価値が優先されるのは全体主義です。

ベーシックサービスとは、所得に関係なく国民すべての生活を保障するため教育・医療・介護・育児など命と暮らしに直接かかわる基本的サービスを無償化し、低所得者に限定して住居手当を支給するなどの政策です。

莫大なコストがかかるベーシックインカム（コロナの特別定額給付金 10 万円など）でなく、生きるために必要なサービスを必要な時に無償で受けられる制度の方が財政的にも効率的です。そのための財源は、法人税や所得税

を含めたベストミックスとともに消費税は外せないと言います。消費税 15%以上の EU 諸国の方が日本より格差が小さく成長率も高いのは、日本の様に将来不安に備えた過剰貯蓄が必要なく消費ができるからです。

生活保護など弱者を助ける制度は助けられた人の心に屈辱が刻まれるから受給を拒否する人が生まれます。すべての人が必要なサービスを堂々と受けられる権利の社会をめざすべきです。

消費税には逆進性がありますが、社会保障を積極的に行っていれば国全体としては逆進的ではなくなる。札束をばらまけば喜ぶのが人間か、どのようなサービスを優先するかを議論して、痛みと希望を分かち合うのが人間か、私たちの人間観、政治観、社会観と民主主義が問われていると話しました。

とても刺激的な講演で共感しましたが、消費税が軍事費に化けてしまう政治体制ではベーシックサービスは実現しないことだけは確かです。

（谷口記）

編集後記

☆ 会員の中村滋さんの川柳投稿が新聞に掲載されていました。

恋文も AI 頼みか近未来

中村光夫さんも川柳を郷土研究に投稿しています。

鎌倉は「かばね蔵」からついたとか

洞門の陰にうごめく寺の拝金主義

会員の皆さんからも川柳、俳句、短歌などどしどしお寄せくだされば幸いです。

☆ かくいう編集子も小さな句会に参加しています。最近の句を 4 句ほど。

菜種梅雨打たれてもなを凜と咲き

送りませ小さく白き野辺の妻

☆ 悪夢のような通常国会が今日(6/21)閉会する。敵基地攻撃能力のための軍事費増予算、防衛産業を支援・国有化し武器を輸出する防衛産業強化法、原発の再稼働・増設の原発回帰法(GX 法)、在日外国人の命を奪う入管難民法、より差別を助長する LGBTQ 理解促進法。唯一の救いは、性犯罪に不同意性交罪を導入した刑法改正か。

☆ 多くの会員から今年度の会費・カンパを振込んでいただきました。ありがとうございます。まだ振り込んでいない方はぜひよろしくお願いたします。 （谷口記）